

# 普通会計バランスシートによる県財政の分析について

## 1 経緯

- 平成11年 本県独自方式によるバランスシートを作成し、公表。
- 平成12年 自治省（現総務省）の全国統一の作成基準に基づくバランスシートを作成し、公表。

## 2 作成目的

- ・資産と負債の関係を明確化
- ・県財政に関する透明性の向上

資産	負債
	正味資産 (資本)

## 3 作成基準・範囲等

- ・作成基準：総務省の統一作成基準
- ・会計の範囲：普通会計
- ・資産の範囲：昭和44年以降に整備した県有の社会資本
- ・各地方公共団体間の財務分析の比較が可能となるように、国の地方財政状況調査（決算統計）を活用する総務省方式で作成。
- ・財務諸表は県の資産、負債等の状況を明らかにし、コスト意識を持った財政運営を行うための参考として活用することが可能。

## 4 平成17年度の状況

資産は2兆4,129億円

・有形固定資産	2兆2,089億円	土木費	1兆4,142億円
		農林費	5,052億円
		教育費	1,718億円
・投資等	1,453億円	貸付金	836億円
		基金	467億円
・流動資産	587億円	現金・預金	480億円

負債は9,907億円

・固定負債	9,322億円	地方債	8,246億円
		退職給与引当金	1,076億円

・流動負債	585億円	地方債翌年度償還額	585億円
-------	-------	-----------	-------

地方債残高は、固定負債の地方債及び流動負債の翌年度償還額の合算である。  
 8,246億円 + 585億円 = 8,831億円

正味資産は1兆4,222億円	国庫支出金	6,804億円
	一般財源	7,418億円

・本県の資産は、国庫支出金・一般財源など将来返済を要しない正味資産が59%、地方債など将来返済を要する負債が41%で構成されている。

## 5 同級他団体における本県の状況

山梨県が属する財政力指数 0.3~0.4 のグループでBSを公表している12団体と比較（H16年度比較）

流動比率（流動資産 / 流動負債）

短期の負債に対する支払い能力を示す

山梨県 98.6（平均 71.4） 良い方から 2位

固定比率（有形固定資産 / 正味資産）

有形固定資産がどの程度自己資本で賄われているかを示す

山梨県 152.2（平均 180.9） 良い方から 1位

自己資本比率（正味資産 / (負債 + 正味資産)）

総資産に対する自己資本の割合を示す

山梨県 59.9（平均 45.4） 良い方から 2位